令和８年度　全国学力・学習状況調査結果の安来市の概要について

安来市教育委員会

令和８年４月２３日（中学校英語及び児童生徒質問調査は４月２４日～５月８日）小学校６年生及び中学校３年生を対象に実施された、全国学力・学習状況調査の結果について、本市の概要をお知らせします。

Ⅰ　調査の概要

○調査の目的
　義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
○ 調査の対象
　◇小学校第６学年：　国語・算数　　◇中学校第３学年：　国語・数学・英語

※全体の平均正答率は整数値にて公表されています。よって、各教科における全体の結果については全国との差に誤差（四捨五入の関係による）が生じることから、表示はしておりません。
※中学校英語は、今回４技能（聞くこと・読むこと・書くこと・話すこと）すべてオンライン（MEXCBT）で実施されました。

２　安来市の状況

（１）教科の概要

〈小学校６年生〉　　・：概要　○：成果　▲：課題

【国　語】
・全体として、全国平均を下回りました。
○「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること」ができていました。
○「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる」問題のうち一つは正答率が高く、無解答率が全国平均より低かったです。
▲「考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解すること」、「情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと」に課題が見られました。

【算　数】
・全体として、全国平均を下回りました。
・すべての領域において全国平均を下回りました。
○「数と計算」において、「小数が整数と同じ十進位取り記数法の仕組みで表されていることを理解し、条件に合う小数をつくること」は全国平均並で正答率も高かったです。
▲「変化と関係」において、「基準量、比較量、割合の関係が正しく捉えること」について課題が見られました。

【　国　語　】

区分	対象問題数	平均正答率(%) 安来市	島根県（公立）	全国（公立）	全国との差	
	13	55	56	60.9		
(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	4	62.2	61.6	66.8	-4.6	▲
(2) 情報の扱い方に関する事項	2	41.7	45.8	52.3	-10.6	▲
(3) 我が国の言語文化に関する事項	0					
話すこと・聞くこと	3	60.7	61.2	65.8	-5.1	▲
書くこと	2	41.3	41.9	45.7	-4.4	▲
読むこと	2	58.7	62.3	65.9	-7.2	▲

【参考】〔R７〕

区分	対象問題数	平均正答率(%) 安来市	島根県（公立）	全国（公立）	全国との差	
	14	65	64	66.8		
(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	2	77.4	76.7	76.9	0.5	○
(2) 情報の扱い方に関する事項	1	61.0	59.0	63.1	-2.1	△
(3) 我が国の言語文化に関する事項	1	79.3	79.6	81.2	-1.9	△
話すこと・聞くこと	3	63.3	63.4	66.3	-3.0	▲
書くこと	3	68.2	66.2	69.5	-1.3	△
読むこと	4	56.2	55.5	57.5	-1.3	△

【　算　数　】

区分	対象問題数	平均正答率（%） 安来市	島根県（公立）	全国（公立）	全国との差	
	16	50	52	56.4		
A　数と計算	8	55.5	56.6	61.1	-5.6	▲
B　図形	4	48.8	49.9	55.3	-6.5	▲
C　測定	1	72.5	74.3	78.1	-5.6	▲
C　変化と関係	3	34.4	35.8	41.1	-6.7	▲
D　データの活用	4	42.2	43.9	48.6	-6.4	▲

【参考】〔R７〕

区分	対象問題数	平均正答率（%） 安来市	島根県（公立）	全国（公立）	全国との差	
	16	54	55	58.0		
A　数と計算	8	57.7	59.9	62.3	-4.6	▲
B　図形	4	52.7	53.4	56.2	-3.5	▲
C　測定	2	54.0	52.5	54.8	-0.8	△
C　変化と関係	3	50.1	54.4	57.5	-7.4	▲
D　データの活用	5	56.4	59.6	62.6	-6.2	▲

※安来市の平均正答率を全国平均に対して差が、
＋３ポイント以上を◎、０～＋３ポイント未満を○、０～－３ポイント未満を△、－３ポイント以下を▲
※算数では対象の区分が複数重複している問題もあります。

〈中学校３年生〉

【国　語】
・全体として、全国平均とほぼ同じでした。
○「情報の扱い方に関する事項」は全国平均を上回りました。
○「互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめること」「文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉えること」は全国平均を上回りました。
▲「文脈に即して漢字を正しく使う」ことに課題が見られました。
▲「書くこと」において「段落相互の関係を明確にし、文章の展開を工夫すること」に課題が見られました。

【数　学】
・全体として、全国平均を下回りました。
○「データの活用」において、「起こり得る場合を樹形図や二次元の表を利用するなどして整理し、確率を求めること」は、全国平均並でした。
○「数と式」において、「同類項の意味を理解しているかどうかをみる」問題は、全国平均並みでした。
▲「関数」については全般的に全国平均を下回り、「数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること」等は、課題が見られました。
▲「図形」については、「筋道を立てて考え、証明すること」に課題が見られました。

【英　語】
・平均IRTスコアは全国を上回っています。（市501 県473 全国499）
・バンド集計値は、全国より「５」と「３」の割合が高く、「１」の割合が低いです。
○「聞くこと」において、「日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を聞き取ること」、「日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ること」については全国平均を上回りました。
○「読むこと」において、「音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能」は、全国平均を上回りました。
▲「書くこと」や「読むこと」において、「社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書くこと」については、課題が見られました。

【　国　語　】

区分	対象問題数	平均正答率(%) 安来市	島根県（公立）	全国（公立）	全国との差	
	15	64	62	63.9		
(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	5	59.9	60.4	63.0	-3.1	▲
(2) 情報の扱い方に関する事項	1	73.7	69.7	70.4	3.3	◎
(3) 我が国の言語文化に関する事項	0					
話すこと・聞くこと	3	66.5	62.4	63.9	2.6	○
書くこと	3	67.2	65.2	67.4	-0.2	△
読むこと	3	60.6	57.2	59.7	0.9	○

【参考】〔R７〕

区分	対象問題数	平均正答率(%) 安来市	島根県（公立）	全国（公立）	全国との差	
	14	52	53	54.3		
(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	2	44.3	47.7	48.1	-3.8	▲
(2) 情報の扱い方に関する事項	0					
(3) 我が国の言語文化に関する事項	0					
話すこと・聞くこと	4	52.1	51.8	53.2	-1.1	△
書くこと	5	50.7	52.1	52.8	-2.1	△
読むこと	3	61.0	60.8	62.3	-1.3	△

【　数　学　】

区分	対象問題数	平均正答率(%) 安来市	島根県（公立）	全国（公立）	全国との差	
	16	53	53	57.0		
A　数と式	5	67.5	65.5	67.8	-0.3	△
B　図形	4	41.5	44.8	48.7	-7.2	▲
C　関数	3	47.6	49.1	54.8	-7.2	▲
D　データの活用	4	52.1	50.3	53.5	-1.4	△

【参考】〔R７〕

区分	対象問題数	平均正答率(%) 安来市	島根県（公立）	全国（公立）	全国との差	
	15	44	46	48.3		
A　数と式	5	37.2	39.5	43.5	-6.3	▲
B　図形	4	38.8	44.3	46.5	-7.7	▲
C　関数	3	46.9	44.8	48.2	-1.3	△
D　データの活用	3	57.8	58.3	58.6	-0.8	△

【　英　語　】

区分	対象問題数
	23
聞くこと	5
読むこと	5
話すこと（やり取り）	3
話すこと（発表）	4
書くこと	6

英語の「話すこと」については、文部科学省が指定した「当日実施校」のみ4月24日、27日に実施し、安来市では5月29日までの期間内の指定日に各校が実施しています。

【R8英語4技能　IRTバンド】

IRTバンド	割合（%） 安来市	島根県（公立）	全国（公立）
5	7.0	3.3	5.7
4	21.8	16.5	24.7
3	38.7	36.9	36.2
2	29.2	35.6	27.1
1	3.3	7.7	6.4

※ＩＲＴとは、国際的な学力調査（ＰＩＳＡ、ＴＩＭＳＳなど）や英語資格・検定試験（ＴＯＥＩＣ・ＴＯＥＦＬなど）で採用されているテスト理論です。この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較できます。共通した問題を解く公開問題と実施日ごとに異なる問題を解く非公開問題を組み合わせて出題されているため、他教科のような平均正答率は出ません。
※ＩＲＴ方式での調査結果は、正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点（スコア）を基に、5段階のＩＲＴスコア（標準スコアは３，最大スコアは５）で表示されています。

（２）学習や生活の様子（児童生徒質問・学校質問調査より）

＜小学校６年生＞

【全国と安来市との比較で特徴的な項目】（全国平均との差）

肯定的な評価項目（一部）

◎ 昼休みや放課後に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室（電子図書館を含む）にどれくらい行きますか → 週1回以上行っている割合（＋16.6）

◎ 学校の勉強のことについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか（＋6.7）

◎ 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間、インターネットを使用して学ぶ時間も含む） → 30分以上の割合（＋6.2）、1時間以上の割合（＋2.7）

◎ 5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか → 週3回以上の割合（＋6.1）

◎ あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか（＋5.9）

◎ 学級会における学級での話合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか（＋5.6）

◎ 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか（＋4.8）

◎ ５年生までに受けた授業では、国語の授業で、先生は、あなたの良いところや前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれましたか（＋4.4）

◎ 学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、PC、タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか → 30分以上の割合（＋3.5）

◎ 将来の夢や目標を持っていますか（＋3.4）

◎ 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか（＋2.1）

否定的な評価項目（一部）

△ これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか（-13.9）

△ 解答時間は十分でしたか（国語）（-10.7）

△ あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理・分析する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができると思いますか（-9.5）

△ 将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいですか（-8.1）

△ 家庭学習の課題（宿題）として、どの程度、PC・タブレットなどのICT機器を使用して、英語の音声を聞いたり英語を話す練習をしたりしていますか（-7.3）

△ 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか（-4.4）

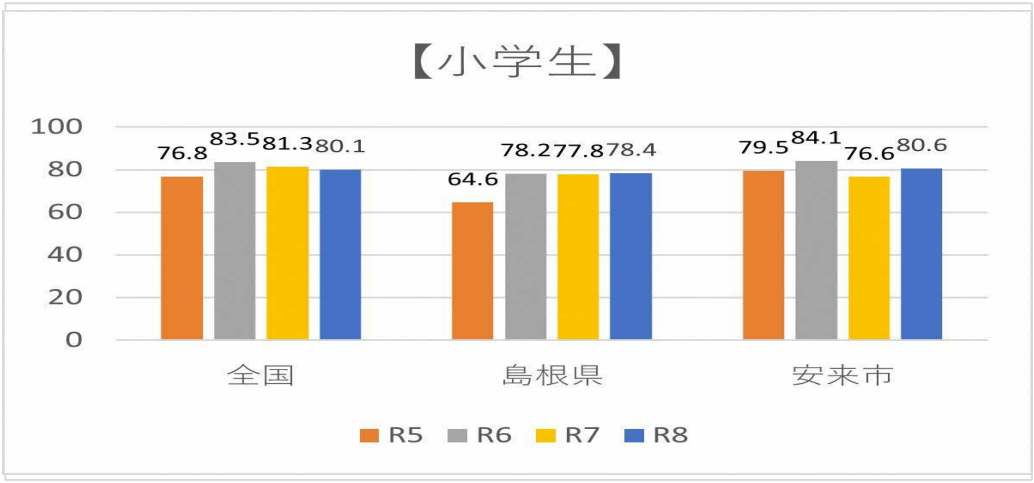
△ 解答時間は十分でしたか（算数）（-4.4）

△ あなたは自分がインターネット等を使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができると思いますか（-3.6）

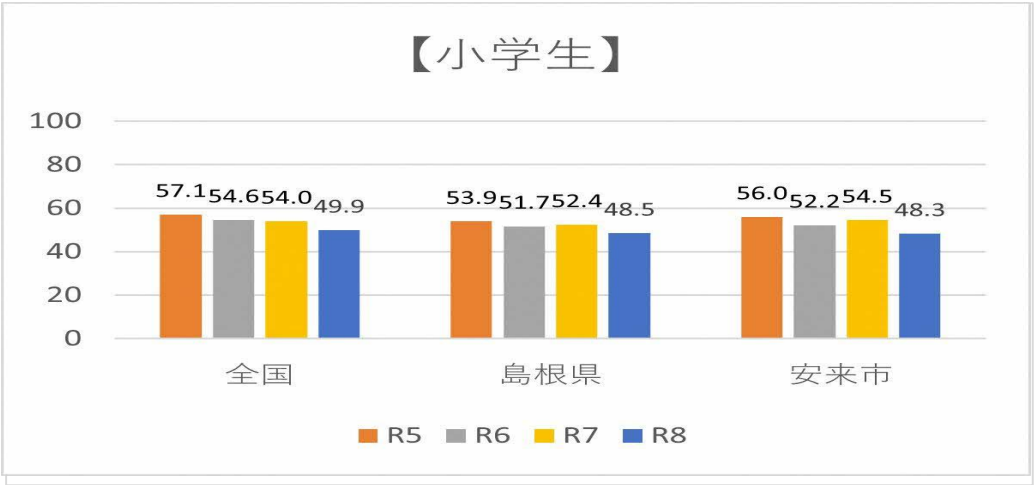
△ 算数の勉強は得意ですか（-2.7）

【学校・地域・家庭に関わる項目】過去４年の経年比較

〇地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか



〇学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間，勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間、インターネットを使用して学ぶ時間も含む）（1時間以上の割合）



（２）学習や生活の様子（児童生徒質問・学校質問調査より）

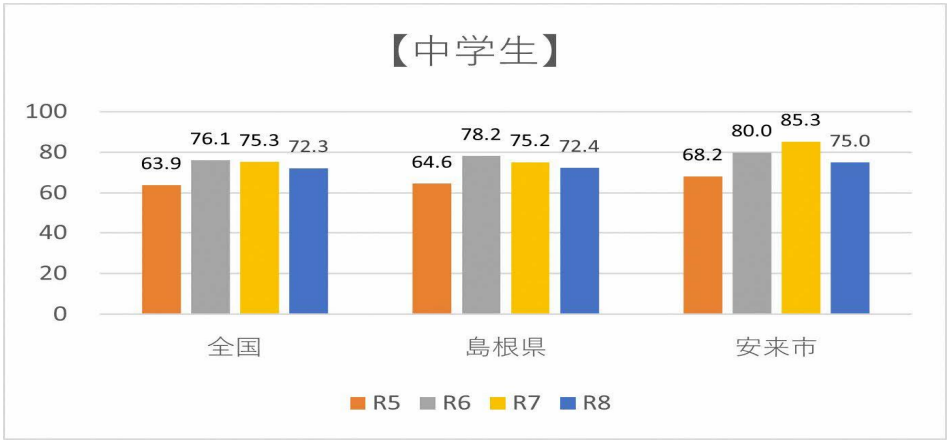
＜中学校３年生＞

肯定的な評価項目（一部）
◎ １人１台端末を持ち帰り、家庭で学習に利用していますか → 毎日持ち帰り・毎日利用の割合（＋57.7）
◎ 1、2年生のときに受けた授業では、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか → 週3回以上の割合（＋19.5）
◎ 英語の勉強は得意ですか（＋11.7）
◎ 総合的な学習の時間では、PC・タブレットなどのICT機器を使って、うまく情報を集めたり、整理したり、発表したりできていますか（＋10.8）
◎ 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか（＋10.5）
◎ 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間、インターネットを使用して学ぶ時間も含む） → 30分以上の割合（＋9.0）、1時間以上の割合（＋2.9）
◎ 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか（＋8.3）
◎ 数学の勉強は好きですか（＋8.2）
◎ あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校での活動でプレゼンテーションができると思いますか（＋6.9）
◎ 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか（＋6.8）
◎ あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか（＋6.7）
◎ 朝食を毎日食べていますか（＋6.1）
◎ 自分には、よいところがあると思いますか（＋6.1）
◎ あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理・分析する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができると思いますか（＋5.2）
◎ あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する（文字・コメントを書くなど）ことができると思いますか（＋4.9）
◎ 英語の授業の内容はよく分かりますか（＋4.1）
◎ 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか（＋3.9）
◎ 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか（＋3.5）
◎ 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか（＋2.7）
◎ 学校に行くのは楽しいと思いますか（＋2.7）
◎ 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか（＋2.2）

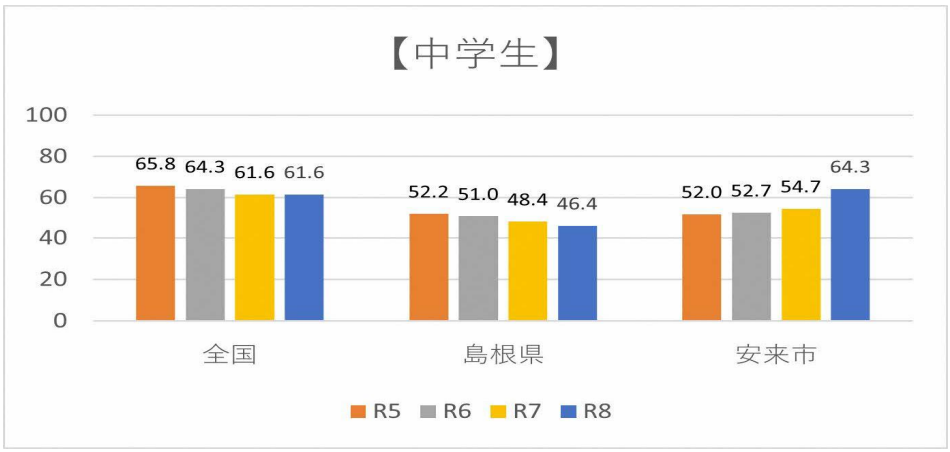
否定的な評価項目（一部）
△ 1、2年生のときに受けた授業では、キーボード（画面上に表示されるキーボードやフリック入力も含む）を使って英語を書く活動をどれくらい行いましたか（-15.3）
△ 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか（-10.8）
△ 1、2年生のときに受けた授業では、国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれましたか（-9.1）
△ 1、2年生のときに受けた授業では、国語の授業で、先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてくれましたか（-7.6）
△ 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか（-3.9）
△ 将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいですか（-3.2）
△ これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか（-2.1）

【学校・地域・家庭に関わる項目】過去４年の経年比較

〇地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか



〇学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間，勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間、インターネットを使用して学ぶ時間も含む）（1時間以上の割合）



３　今後の取組

安来市の各小・中学校では、児童・生徒の学力向上をめざし、授業改善をはじめとした「主体的・対話的で深い学び」を支える様々な活動や家庭学習の支援等に取り組んでいます。

安来市教育委員会では、「安来市学力育成推進計画」に基づき、**①支持的風土の醸成、②「主体的・対話的で深い学び」の授業改善、③家庭学習の充実、④本物体験の充実**の４つの柱を設けて授業改善を推進しています。全国学力・学習状況調査の分析から見えてきた成果と課題を踏まえ、各校の授業改善を支援していきます。

また、学力育成の基盤となる**学校と家庭と地域の横の連携、保育所園・認定こども園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校の縦の連携を推進**し、一丸となって学力向上に取り組んでいきます。

＜学校が大切にしていくこと＞

（1）支持的風土の醸成

安来市の児童・生徒の「自分にはよいところがあると思う」との回答が高い水準を維持していることから、子どもが自分の考えや思いを安心して表現できる支持的風土の醸成が進んでいると考えられます。

〇学級経営や授業、学級活動及び児童会・生徒会活動の充実を図り、支持的風土の醸成を推進します。

（2）「主体的・対話的で深い学び」の授業改善

授業で週３回以上PC・タブレットなどのICT機器を利用している割合については、安来市小・中学校は全国に比べ大幅に高くなっています。文部科学省の分析では、ICT機器を活用することができると考えている児童・生徒ほど、各教科の正答率やスコアが高い傾向が見られることから、今後もICT機器の日常的・効果的な活用を推進していきます。

〇児童・生徒がICT機器を利用しているというレベルから一歩進んで、インターネットを使った情報収集、情報整理や発表時のプレゼンテーションの作成、思考ツール等を用いた分析など、効果的な活用を推進します。

〇児童・生徒自身が授業で「何が分かったか、どのような力がついたか」がわかるように振り返りをきちんと行い、学習を通して身に付けた知識を活用し、現実の事象と関連付けて理解できるように授業改善を図ります。

（3）家庭学習の充実

安来市では全国に比べて家庭学習時間を確保している児童・生徒が多く、１人１台端末を毎日持ち帰って家庭学習に活用している割合も全国平均を大きく上回っています。今後も家庭学習の質と量の充実を支援していきます。

〇学習内容を定着させる宿題に取り組むだけでなく、各教科でつけた知識・技能等を活用して児童・生徒が主体的に実生活での疑問を探究していくことができるような家庭学習の工夫を図ります。

〇１人１台端末を使い、児童・生徒が主体的に家庭学習の計画を立て、計画に基づいてAIドリル等による学習を進められるようにします。

（4）本物体験の充実

学校質問紙「指導計画の作成に当たっては、教育内容と教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか」の回答は、安来市小学校が93.8%、中学校が100%でした。このことから、今後も外部の人的資源の活用し、本物を体験する取組を支援していく必要があります。

〇授業を学校で完結することなく、専門家の力を活用し、『驚き』と『発見』に裏付けられた理系教育を展開するために、島根大学教育学部理科研究室の先生による小学校理科出前授業等を実施していますが、今後も専門家の力を活用する事業を継続していきます。

〇児童・生徒が学ぶ意義や学ぶ楽しさを実感し、より深い学びにつながるように地域の「ひと・もの・こと」を効果的に活用した「ふるさと教育」を推進します。

〈家庭、地域で大切にしていただきたいこと〉

◎ 保護者の皆様へのお願い

安来市の児童・生徒は、全国と比べ毎日朝食を食べる割合も高く、平日・休日ともに30分以上・1時間以上家庭学習を行う割合が高くなっています。これからも引き続き、基本的な生活習慣を身につけたり、家庭学習習慣を身につけたりすることを大切にしていただきたいと思います。また、全国学力・学習状況調査の結果をふまえ、次のことも大切にしていただきますようお願いします。

○持ち帰ったタブレットを使って家庭でどのような学習をしているか、お子様と話しましょう。
○地域の行事に積極的に参加したり、郷土の自然や文化にふれる体験をしたりしましょう。
○読書に親しむ経験を豊かにしましょう。

◎ 地域の皆様へのお願い

「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」と回答した児童・生徒の割合（小学校80.6%、中学校75.0%）が全国平均を上回っていることは、本市の大きな強みです。これは、本市が進めているふるさと教育に対して、地域の皆様のご協力をいただいている賜物です。

○これまで以上に子どもたちと意識して関わっていただきますよう、よろしくお願いします。
○ふるさと教育については、今後もより充実したものになるよう取り組んでいきますので、引き続きご支援をよろしくお願いします。